

松江圏域重症神経難病患者の  
介護支援専門員連絡会

# 「重症神経難病患者の 災害時支援について」

講師

松江保健所 保健師

坂根 明子 氏

# ZOOMの注意事項について

- ・参加者名は所属と氏名を入力・表示してください。
- ・出欠確認のためビデオをONにして受講をお願いします。
- ・受講中はマイクをミュートにしてください。
- ・講義中は、画面の共有機能でパワーポイントを表示します。
- ・講義中の録音・録画は禁止しておりますのでご了承ください。
- ・不具合がある場合は、事務局 0852-61-3741へご連絡ください。
- ・質問はチャットで受け付け、講義後に取りまとめます。

# タイムスケジュール

10:00～10:10 開会のあいさつ

10:10～11:10 講義「重症神経難病患者の災害時支援について」

- ・松江圏域重症神経難病患者（在宅）の状況
- ・松江市避難行動要支援者名簿、安来市要援護者台帳登録について
- ・非常用電源確保事業について
- ・災害時個別支援マニュアルについて
- ・今年度の避難のシュミレーションについて

11:10～11:30 質疑応答、まとめ

閉会のあいさつ

# 重症神経難病患者の災害時支援について

～松江圏域重症神経難病患者の介護支援専門員連絡会研修会～



令和3年7月9日(金)10:00～11:30  
松江保健所 医事・難病支援課 坂根 明子  
電話:23-1315 FAX:21-2770  
メールアドレス:sakane-akiko@pref.shimane.lg.jp

# 本日の進行

1. 2021年度の介護報酬の改定について  
(高齢者福祉計画・第8期介護保険計画事業計画について)
2. 避難行動要支援者名簿について
3. 松江圏域重症神経難病患者（在宅）の状況
4. 災害時個別支援マニュアル
5. 非常用電源確保対策事業
6. 避難シュミュレーション

# 1. 2021年度介護報酬の改定について

## 1. 感染症や災害への対応力強化

2. 地域包括ケアシステムの推進
3. 自立支援・重度化防止の取組の推進
4. 介護人材の確保・介護現場の革新
5. 制度の安定性・持続可能性の確保

## 感染症や災害への対応力強化

感染症や**災害**が発生した場合であっても、  
利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供  
される体制の構築をすること。



- ・業務継続に向けた取組の強化
- ・災害への地域と連携した対応の強化

## 業務継続に向けた取組の強化

感染症や災害が発生した場合であっても、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、全ての介護サービス事業所を対象に、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練(シュミレーション)の実施等

(※3年の経過措置期間あり)



# 松江市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 (2021-2023年度)

◆国の基本方針を受け、災害・感染症対策が追加

①業務継続計画(BCP)の策定  
\* Business Continuity Plan

令和元年度実績値  
12.8%



令和5年度目標値  
100%

# 安来市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 (2021－2023年度)

## 安心して暮らせるまちづくりの推進

自然災害や感染症対策への不安が広がる中でも、  
住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるように、  
防災・交通安全・防犯対策を進めます。

＊業務継続計画の提出

## 2. 避難行動要支援者名簿について



災害対策基本法に基づき、大地震などの災害が起こったときに、自力で避難することが難しく、支援を必要とする方々(避難行動要支援者)を、あらかじめ登録しておく名簿の作成が市町村長に義務付けられた。

・災害対策基本法の一部改正

平成25年6月

・「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針(内閣府)」

平成25年8月

# 避難行動要支援者名簿とは

- ▶ **要配慮者**のうち、災害時、避難するために特に支援を必要とする人たち（=**避難行動要支援者**）の情報が記載された名簿
- ▶ **目的：災害時の避難支援等に活用すること**
- ▶ 主体：市町村によって作成・管理
- ▶ 根拠：災害対策基本法、地域防災計画

# 要配慮者とは

- ▶ 災害時に迅速・的確な行動が取りにくく、**被害を受けやすい人**
- ▶ 具体的には・・・
  - 高齢者、病弱者、難病患者、障がい者、児童・乳幼児、妊産婦、外国人、観光客・旅行者など

# 避難行動要支援者とは

- ▶ 「要配慮者」のうち、災害時、自力で避難することが困難で、避難するために特に支援を必要とする人
- ▶ 具体的な要件は市町村が決定



# 避難行動要支援者の要件

難病患者が対象外！！



## 松江市避難行動要支援者名簿

1. 75歳以上の一人暮らし高齢者または75歳以上の高齢者のみの世帯に属する人
2. 身体障がい者手帳の交付を受けている人
3. 療育手帳（A,B）の交付を受けている人
4. 精神障がい者福祉（1, 2級）の交付を受けている人
5. 要介護認定3から5を受けている人
6. 従来からの制度(災害時要援護者避難支援制度)に登録している人、または1から5以外の人で名簿登録を希望した人
7. その他市長が必要と認めた人

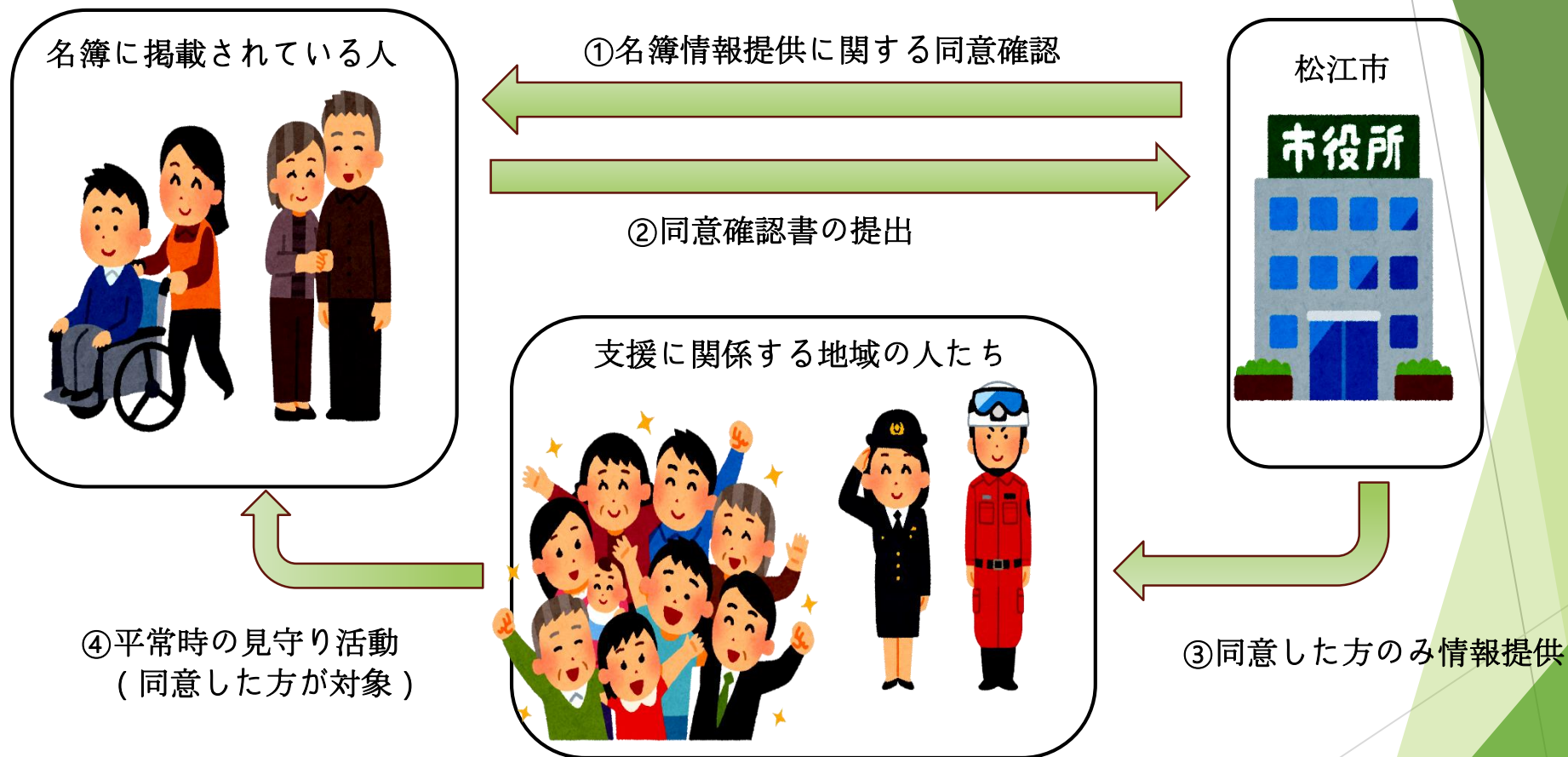
\*担当課 松江市福祉総務課（55-5302）

## 安来市災害時等要援護者台帳

1. 70歳以上の一人暮らし又は高齢者のみの世帯の人
2. 介護保険の要介護認定3以上の人で居宅で生活をしている人
3. 19歳以上の身体障害者手帳1, 2級又は第1種所持者で居宅で生活している人
4. 19歳以上の療育手帳A所持者で居宅で生活している人
5. 19歳以上の精神保健福祉手帳1級の交付を受け居宅で生活している人
6. 民生委員・児童委員が台帳への登録を特に必要と認めた人

\*担当課 安来市福祉課（23-3224）

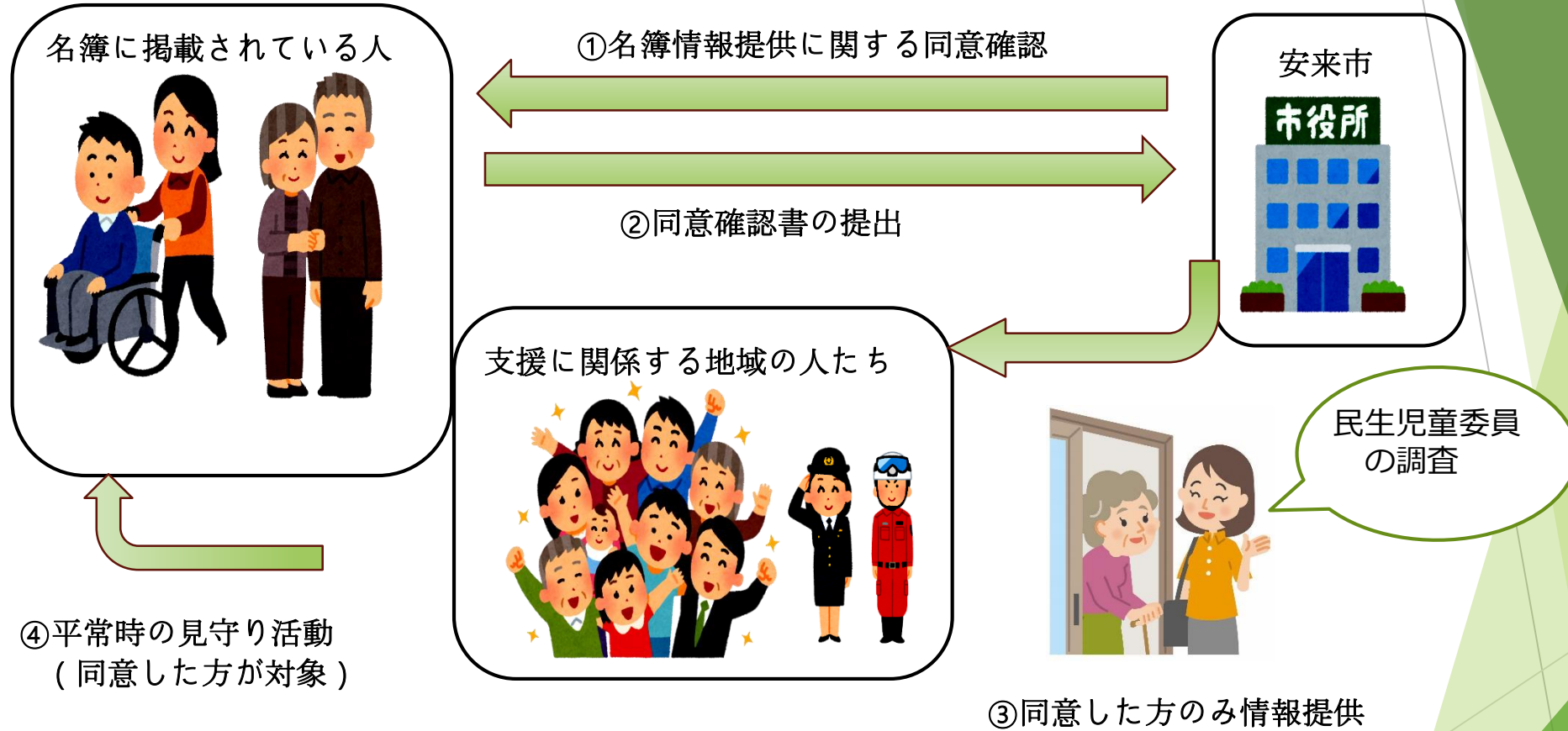
# 名簿活用のイメージ図(松江市の場合)



災害時には、避難誘導や安否確認などを行います。



# 名簿活用のイメージ図（安来市の場合）



災害時には、避難誘導や安否確認などを行います。

# 避難行動要支援者の情報提供

- ▶ 避難行動要支援者本人の**同意**を得ると、市から次の関係者へ本人の情報を提供することができる
- ▶ 名簿情報の提供先（＝避難支援等関係者）
  - ① 消防機関
  - ② 警察機関
  - ③ 社会福祉協議会、地区社会福祉協議会
  - ④ 民生児童委員
  - ⑤ 自治会
  - ⑥ 自主防災組織
  - ⑦ 要配慮者支援組織
- ▶ 名簿情報の提供先には、災害対策基本法の規定により**守秘義務**が課される。

# 名簿の記載項目

▶ 避難行動要支援者名簿・同意者名簿共通

▶ 記載項目：

同意・不同意の別

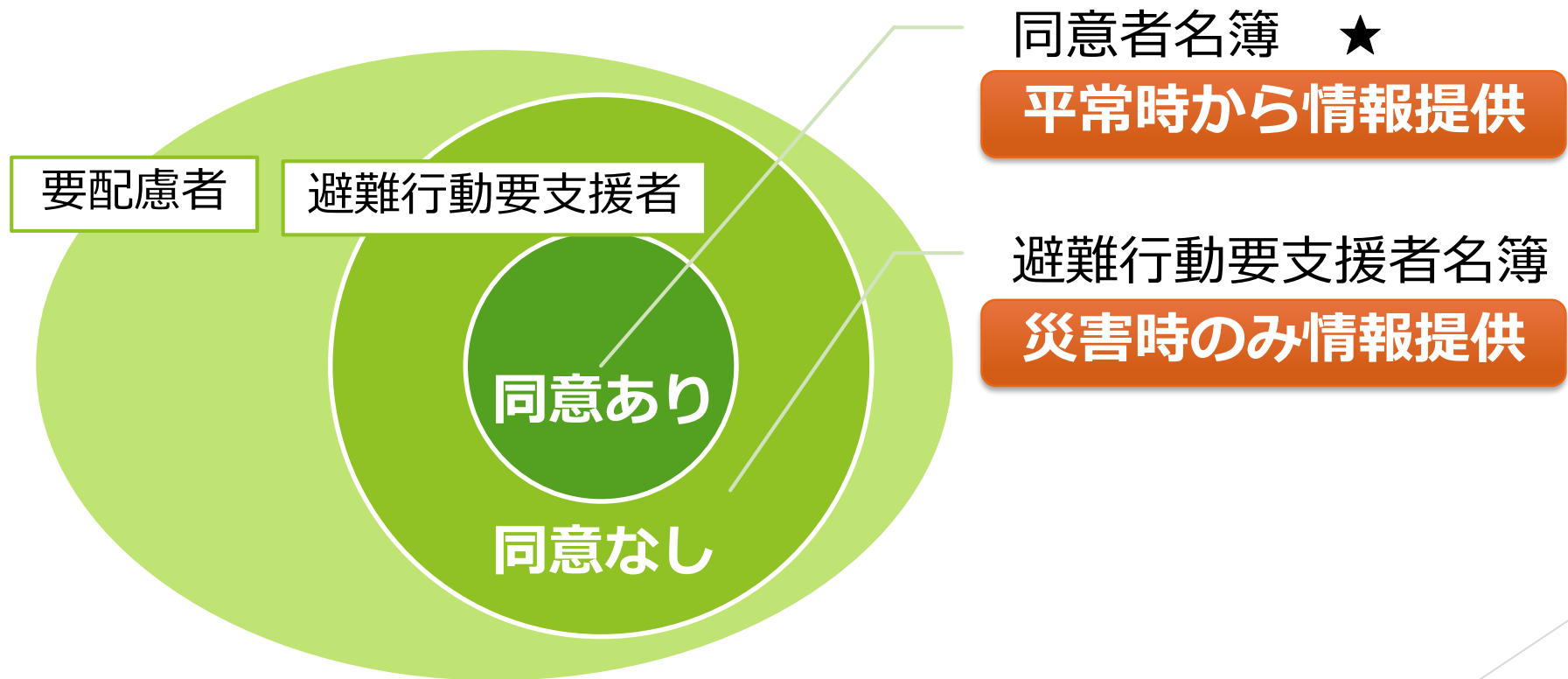
氏名 生年月日 性別 住所 連絡先

避難支援等を必要とする理由

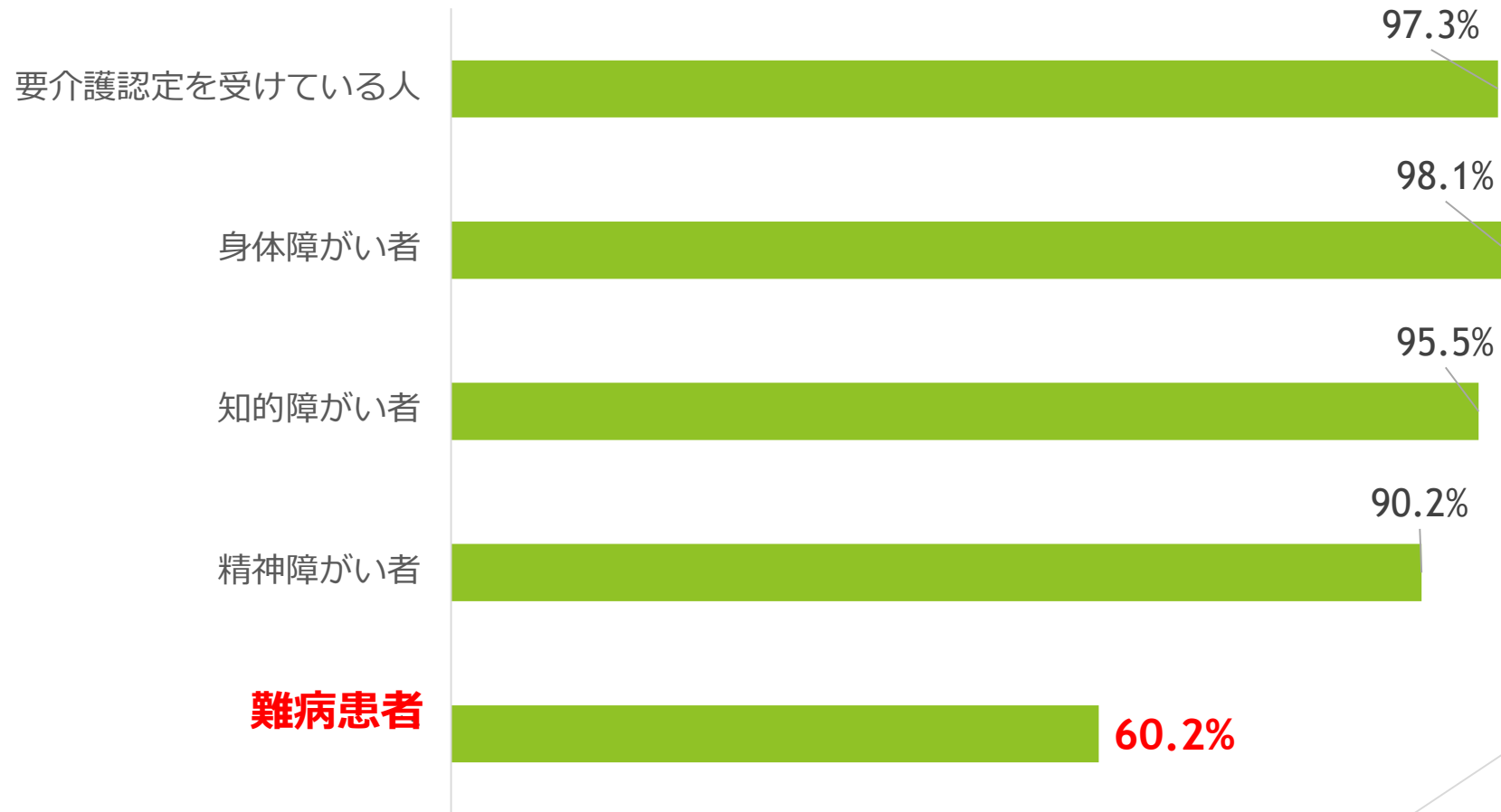
緊急時の家族等の連絡先

支援に係る情報 公民館区

- ▶ 平常時には**同意者名簿**を提供
- ▶ 避難行動要支援者のうち、情報提供に同意された人のみ掲載



# 避難行動要支援者名簿の掲載対象に している市区町村の割合



総務省消防庁の調査

# 3. 松江圏域の重症神経難病患者（在宅）の状況

## 1) 特定医療費(指定難病)受給者の状況

※令和2年度は10月末の人数

## 2) 特定医療費上位疾患の状況

松江市

安来市

## 3) 重症神経難病患者の数（R3.3.31現在）

### 【神経難病の特徴】

- ◆医療依存度が高い
- ◆A D L 障がいが進行し自立困難
- ◆家族等介護者の負担が大きい

## 4) . 松江圏域のALS患者（在宅）の状況



## 5) 松江圏域の多系統萎縮症患者（在宅）の状況

# 重症神経難病患者が災害時に支援が必要となる理由

- ①自身や、家族での移動、通常の避難行動が困難
- ②停電になった際、**電源を必要とする機器**を使用しているため、電源の確保が必要。(人工呼吸器、吸引器、排痰補助装置、電動ベッド、エアマット、移動用リフト)  
なかでも、**人工呼吸器は命に直結します。**

- ③避難を目的とした入院の受け入れ態勢が明確化されていない。

(R2,難病対策地域協議会での議題)



Q. ベッドから車椅子への移動にどのくらい  
人手が必要でしょうか？

○ 頭部とTPPV,NPPVのチューブの確保：1名

○ 上半身と下半身を支える：3～4人

○ 人工呼吸器を持つ：1人

○ 生活用品（経管栄養、意思伝達装置、  
排痰補助装置の準備：1人

**\* 最低でも6名は必要**

# 難病患者（ALS：筋萎縮性側索硬化症）の 避難支援訓練の様子（四日市市提供）

\* 難病と在宅ケア掲載(2021.2月号)



# 4. 災害時個別支援マニュアル

在宅で人工呼吸器をお使いの方へ

## 災害対応 マニュアル

松江  
保健所

【患者様氏名】

様

作成日	令和	年	月	日
更新日	令和	年	月	日
更新日	令和	年	月	日
更新日	令和	年	月	日

あなたの自宅付近のハザードマップ 洪水 高潮 津波 土砂災害  
地震に関する地域危険度 建物倒壊 火災  
〇〇市災害時等要支援者台帳への登録 未 済

この災害対応マニュアルは、緊急性・特殊性の高い人工呼吸器を使用されている方とご家族、関係者で災害時の備えをし、作成した計画に基づいて準備を行い、いざ災害が起きた時に冷静な行動がとれるようにすることを目的として作成しています。

平成25年度に難病対策地域協議会において、ワーキングを開催し、マニュアル作成。

# マニュアルの構成

1. 基本情報 \* ハザードマップ
2. 災害時に備えて準備しておくもの(最低3日、できれば1週間の備蓄)
3. 安否確認の流れ
4. 平常時の備え(停電)
5. 災害発生時の対応(停電)
6. 災害発生時の対応(地震)
7. 災害時の対応(風水害)
8. 家族・親戚リスト
9. 災害用伝言ダイヤル(171)の基本的な操作方法
10. 緊急時等受療シート



# 福祉避難所について

- ・ 松江市 16か所
- ・ 安来市 4か所

非常用電源がある施設は・・・

- 【松江市】

福祉避難所：保健福祉総合センター、  
いきいきプラザ島根（自家発電）

学校：養護学校、清心養護学校 など

- 【安来市】

安来市庁舎、安来市消防、

福祉避難所：健康福祉センター など  
（市立病院と共有の自家発電）



## ・ 平常時の備え（停電）

### 1 人工呼吸器の駆動時間の確認

内部バッテリー駆動時間

外部バッテリー駆動時間

$$\begin{array}{c} \boxed{7 \text{ 時間}} \\ \text{内部バッテリー駆動時間} \end{array} + \begin{array}{c} \boxed{7 \text{ 時間}} \\ \text{外部バッテリー駆動時間} \end{array} \times \boxed{4 \text{ 個}} = \boxed{35 \text{ 時間}}$$

診療報酬上、外部バッテリーの貸出は呼吸器業者と医療機関の契約内容によって配備できる個数は異なる。

### 2 充電式吸引器

**30 分**

※足踏み式吸引器の準備の有無 有・無

※蘇生バッグの有無 有・無

### 3 ANPY の登録 有・無



# 在宅ALS患者の予備バッテリー装備状況

# 5. 非常用電源確保対策事業

災害時の  
ための

## 非常用電源確保対策事業について

この事業は、災害時などの際、在宅で人工呼吸器等の医療機器を使用して生活している方に対し、非常用電源の確保を目的に発電機等の貸し出しを行う事業です。  
発電機等の貸し出しを希望される場合は、事前の登録が必要です。

災害が起こる  
前に登録を。



### 1. 事前登録の流れ

- ① 利用を希望される場合は、別紙の「事前登録申請書」に、利用を希望される方のお名前、ご住所、現在使用されている医療機器等について記載し、下記の各市担当課若しくは保健所に提出してください。

#### 【非常用電源確保事業担当課】

- ◆松江市にお住まいの方…松江市役所 障がい者福祉課 〒690-8540 松江市末次町 86 ☎0852-55-5304
- ◆安来市にお住まいの方…安来市役所 福祉課 〒692-0404 安来市広瀬町広瀬 1930-1 ☎0854-23-3216
- 【松江保健所 医事・難病支援課】 〒690-0011 松江市東津田町 1741-3 ☎0852-23-1315

- ② 「事前登録申請書」により、松江保健所に登録されます。

### 2. 災害時に、発電機等の貸し出しを希望される場合

- ① 災害時に発電機の利用を希望される場合は、市担当課に連絡をしてください。  
(市担当課に連絡がつかない場合は直接保健所に連絡をしてください。)

災害が起こった  
時、発電機が必  
要な場合は連絡  
をしてください

- ② 連絡を受けた市役所の担当者が、ご自宅や避難所等に発電機等を届けます。  
(災害状況により、災害時個別支援計画に記載されたサービス提供支援者や貸出希望者家族等による搬送も可能です。)

- ③ 発電機等の使用が不用になった場合は、上記の担当課に返却してください。  
返却の際は、使用した燃料を満充電<sup>\*</sup>にして、ご返却ください。

<sup>\*</sup>燃料の充電については下記「山陰酸素工業(株)」まで。

松江支店 〒690-0038 島根県松江市平成町 182-29 Tel: 0852-23-3600  
安来支店 〒692-0011 島根県安来市安来町 1054-1 Tel: 0854-22-3331

※事前に災害発生が予測される場合等は、予め各市庁舎若しくは登録者の使用場所まで搬送が可能です。

### 3. 対象となる方

島根県内にお住まいで、在宅で人工呼吸器等を利用している、重症心身障がい児・者、及び、難病の方です。

### 4. 貸し出し用の発電機について

- ・発電機は、人工呼吸器等の医療機器の電源としては使用できません。予備バッテリー等の充電器として使用できます。
- ・発電機を設置するため、屋外で雨がつかからず高温にならない場所の確保が必要です。

お問い合わせ先

- ◆松江保健所 医事・難病支援課 ☎0852-23-1315
- ◆松江市障がい者福祉課 ☎0852-55-5304
- ◆安来市福祉課 ☎0854-23-3216



# 非常用電源訓練



市町村に対する在宅障がい児・者、  
難病患者のための非常用電源機器貸出事業  
(R2~新規事業)

松江市障がい者福祉課：3セット

安来市福祉課：2セット

# 松江圏域の今年度の取組について

- ・電源確保の観点だけでなく、風水害、地震等も想定しマニュアルを改定。
- ・マニュアル作成がゴールでなく、避難のシミュレーションを行う。
- ・災害時要支援者に対して、災害時避難行動要支援者名簿の案内を勧めていく。(市への難病患者の登録に向けた働きかけ。)
- ・保健所内の災害時支援者の安否確認について  
AC(アクションカード作成)

# 6. 避難シミュレーション

## 避難訓練が重要な理由

- ・震災時にリスト上でしか見た事がない患者は救出に時間がかかったり、遅れることがある。
- ・平常時は、訪問看護師、ヘルパーの支援があるが、災害時には、サービス提供者自身が被災者になることもある

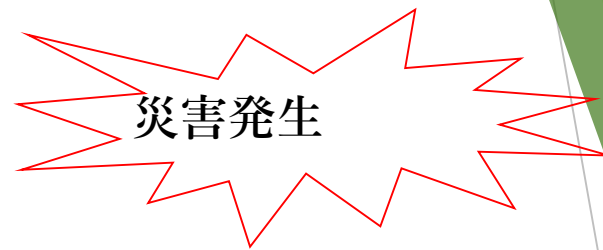
**\* 近所、地区防災組織の協力を得ることも必要！！**

# 避難シミュレーション・・・

災害発生地域でなく、自宅が安全で電源確保できれば、  
自宅避難も考慮。

\* 72時間は自宅待機できるように備えが必要

## ①安否を知らせましょう！



- ・安否について、支援者に連絡は？

### \* 災害時伝言（171）ダイヤルの利用

毎月1日と15日、正月三が日、防災週間（8月30日～9月5日）、  
防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）は体験利用が  
できます。

## ②地震です！



- ・寝ている周りは安全ですか？
- ・呼吸器は正常に作動していますか？
- ・回路は破損、異常な音、臭いはしていませんか？
- ・設定値が変わっていませんか？



### ③停電です！



ブレーカーの確認も！

- ・ブレーカーを確認。通信手段があれば、復旧の目途を電力会社に確認。
- ・呼吸器の外部バッテリーは何時間も持ちますか？何個ありますか？
- ・吸引器のバッテリーはありますか？（足踏み吸引器、シリンジでの吸引）
- ・呼吸器業者に連絡し、自宅に外部バッテリーを持ってきてもらうことは可能ですか？
- ・車のシガーライターケーブルはありますか？
- ・アンビュバッグはありますか？(人出はありますか？)
- ・非常用電源はありますか？

電源も持たない、大規模災害、通信手段もない・・・

- ・電源のある福祉避難所はどこですか？

足踏み式吸引器



蘇生バッグ



シリンジ吸引器



## ④水害です！

- ・警戒レベル2【注意報】 いつでも避難開始できるように
- ・警戒レベル3【避難準備・高齢者等避難開始避難】で行動を開始。



## ⑤避難が必要です！（地震、電源確保できない、水害等）

- ・避難方法は？（自家用車、介護タクシー）
- ・避難場所は？（福祉避難所、レスパイトの病院での受け入れは可能か）
- ・災害時の要援護者支援制度の登録は？
- ・経腸栄養剤の備蓄はありますか？
- ・予備の呼吸器回路
- ・意思伝達（文字盤など）



# 文字盤



電気機器を用いない方法での意思伝達も！

# 今後（国の動き）

## 自治体に対して

- 平常時からの福祉避難所の受け入れ対象者の把握
- 福祉避難所として利用可能な施設の把握  
（福祉施設、特別支援学校、宿泊施設）
- 福祉非難所の物資、機材の確保
- 医療機関との連携（医療が必要となった際の搬送）

**福祉非難所の確保・運営ガイドラインより**

# まとめ



- 住んでいる場所、患者さんの状況、使用している機器は様々。  
個別支援計画において、個々の患者さんごとに、平常時の備え、避難方法、電源確保方法を定めて、本人、家族、支援者で確認しておくことが大切。
- 最も難易度の高いALS患者さんの避難に向けた準備ができれば、他の疾患、寝たきりの高齢者さんの避難準備もできるはず・・・
- 個別のケースの災害時の支援計画の作成とともに、事業所毎のBCPも勧めていくことが必要。

在宅ALS患者の個別支援計画策定をし、  
避難シュミュレーションを実施。



9月の研修会で共有を

ご清聴ありがとうございました。

# 皆様、研修お疲れ様でした(^^)!

- アンケートのご協力をお願いします。
- 次回は9月  
「災害時のシュミレーション事例について」  
研修を予定しております。  
また、ご案内させていただきますので、  
ぜひご参加ください。

URL <https://docs.google.com/forms/d/1NsJ-q84xauvNjRxfjqZnlapiQXBB-SAZgHrt33ojW7Y/edit>

